教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・国語総合	1	4	新編国語総合　　（東京書籍）	「ビジュアルカラー国語便覧」（大修館書店）・「書きたくなるアシスト常用漢字」（数研出版）・現代新国語辞典 第六版（三省堂）・全訳読解古度辞典 第五版 小型版（三省堂）
科目の概要と目標	言葉によって認識や思考を働かせ、国語で的確に理解し、効果的に表現する能力の育成を目指す。 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 言語感覚を磨き、言語文化に対応する関心を深め、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を育てる。			

単元	学習内容	到達度目標
随想Ⅰ	「海流ミクロネシア」 「ルリボシカミキリの青」	・随想を読み、作品の雰囲気を味わい、筆者の感じ方・考え方にふれる。 ・国語辞典を積極的に活用する姿勢を身につける。
小説Ⅰ	「とんかつ」	・小説に親しみ、話の構成や展開のおもしろさを味わう。 ・登場人物の心情を読み取り、主題について考える。
古文入門	「児のそら寝」 　古文学習のしるべ１　古文の仮名遣いほか 「絵仏師良秀」 　古文学習のしるべ２　用言の活用	・古文を読むための基礎な知識を身につける。 ・登場人物の心理に注目して、古文の世界に親しむ。 ・古語辞典の使い方を理解する。 ・ノートの作り方や予習の仕方など、古文の学習法を理解する。 ・動詞の活用について理解を深め知識を身につける。
評論Ⅰ	「未来をつくる想像力」	・評論を読んでその内容を的確に理解する。 ・現代社会における様々な問題に関心を持つ。
詩	「空をかついで」 「二十億光年の孤独」	・詩に親しみ、豊かなイメージの世界を味わう。 ・詩の言葉の持つ世界観や表現の効果について考える。
言語活動	１　「スピーチをする」 ２　「意見文を書く」	・話す速度、声の大きさ、明瞭な発音などに注意して、自分の意見や考えを述べる。 ・相手を意識しながら、自分の伝えたいことをわかりやすい言葉で書く。
漢文入門	訓読の基本 再読文字・助字 「守株」「借虎威」	・漢文訓読に必要な基礎的な知識を身につける。 ・名言や故事を読み、漢文の世界に親しむ。
評論Ⅱ	「美しさの発見」	・論理的な文章の論の展開の仕方を理解する。 ・筆者の主張を読み取り、自己の思考に役立てる。
古文	随筆・物語 「亀山殿の御池に」 「今日はそのことをなさんと思へど」 「芥川」　「筒井筒」	・古文の内容を正確に理解する力を養う。 ・『徒然草』の人間観察の深さ、おもしろさを味わう。 ・歌物語の特色を理解する。 ・古典作品の背景や古典の常識などを知り、作品のイメージ化を図る。
小説Ⅱ	「羅生門」	・登場人物の言動と心情の変化を読みとり、人間の本質について考える。 ・物語の展開の巧みさや比喩表現などを味わう。
漢文	唐詩 「春暁」「蛾眉山月歌」 「春夜喜雨」 史話 「魏武捉刀」	・唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 ・中国の自然や人間の心理が詩にどのように詠まれているかを考える。 ・詩形・押韻・構成・対句について理解する。 ・話の展開に即して、内容を理解する力を養う。
言語活動	３　「討論する」	・課題に応じた話し合いや討論を行い、論拠を明確にして意見を述べる。